



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 川根温泉メタンガス発電開始 新エネルギー先進都市へ成長

この4月から、川根温泉を舞台にメタンガス発電が始まりました。川根温泉ホテルに電力を供給し、回収した排熱は「川根温泉ふれあいの泉」の給湯設備に供給します。この発電で、川根温泉ホテル消費電力の約6割(1日平均 1,800kwh) が賄えるようになりました。

川根温泉の源泉からは、メタンガス85%を占める天然ガスが毎時約30m³噴出しています。これまでは大気中に放散していたメタンガスを新エネルギーとして活用する



メタンガス発電施設

ことで、川根温泉施設のランニングコストの低減だけでなく、地球温暖化防止や災害時の電力確保も図られます。軽減された光熱水費相当分は、指定管理者から市に納入していただき、発電設備の維持経費、次回機器更新費用に充当する予定です。

温泉付随ガスを利用した発電システムの導入事例は全国的にも少なく、改正鉱業法による特定区域制度において採掘権を取得した全国初の事例となるため、他市町村から視察が相次いでいます。今後は、環境教育の視察地としても誘客が期待できることでしょう。採掘権の取得までに3年を要したこの事業が、新たなエネルギーマネジメントの先駆者としての地位を確立し、今後は「環

境」と「観光」の両面から川根地域が全国的に注目を集めることになります。

市内では、すでに伊太地区において、小水力やメガソーラー発電施設が設置されているほか、田代環境プラザで「ごみ焼却廃熱式発電」を実施するなど、エネルギー創出の多様化を図ってきました。さらに、今年2月には新東海製紙(株)が大規模な木質バイオマス発電施設を本格稼働し、これまで、県内トップクラスを歩んできた本市は、国内有数の新エネルギー・再生可能エネルギー推進都市へと成長します。島田市は、これらの取り組みを全国に向け広く発信していくと同時に、省エネルギーをはじめとする地球温暖化対策に積極的に取り組んでまいります。

このように「環境」を重点施策の一つに掲げる島田市は、温室効果ガスの排出量を削減し、低炭素型の製品やサービス、ライフスタイルを“賢く選択”していく、国が掲げた「COOL CHOICE」を宣言しました。このまちの賢い選択は、地球の未来をも変えることができると考えています。市のホームページでは、市ふるさと大使の別所哲也さんにご協力いただいた「島田市 COOL CHOICE 宣言」をご覧くださいませ。



QRコード



別所哲也氏からのビデオメッセージ

みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

初倉南小学校の入学式に合わせて、井口町内の有志で手作りのアーチを製作し、新入生59人を祝福しました。学校の玄関前に設けたアーチの大きさは、高さ約2m・幅約3m。使わなくなった理容店のサインポール2本を柱にして、色とりどりの飾りを付けて「入学おめでとう」「交通安全」などのメッセージを添えました。

入学式当日には、アーチの前で記念写真を撮る新一年生と保護者もいて、子どもたちを育てる役割を担えたようで、

とても嬉しく思いました。これからも地域を見守り、つながりを大切にす活動が続いていきたいです。(永田 久美さん、三浦 勉さん)

